

日構専同窓会 仲田 孝幸会長

被災した会員に物的支援を

在校生の支援システム検討も

溶接および

非破壊検査技

術に特化した

国内唯一の技

術者養成機関

として30年余

りの歴史を持

つ日本溶接構

造専門学校

(略称・日構

専、神奈川県

川崎市)。そ

の同窓会も発

足から約20年

が経過し、鉄



仲田会長

骨ファブ経営者の子弟を中心

とする会員は約800人を数

える。近年は建築鉄骨業界そ

のものの不振もあって活動が

やや停滞気味だったが、同会

の仲田孝幸会長(仲田鉄工建

設社長(東京都)は「会員間

の横のつながりを今一度強め、

東日本大地震で被災した会員

の支援に努めたい」と意気込

む。具体的には被災ファブの

稼働再開に向けた物的支援を

計画。現在、会員の被災確認

を急ピッチで進めており、要

望に応じて溶接機などの中古

機器を現地に贈る方針だ。

「当初は義援金を贈ること

を考えたが、被災ファブが何

より望んでいるのは仕事を再

開することだろうと思いたた

り、物的支援に切り替えるこ

とにした。同窓会に所属する

卒業生は全国にいたので、今

こそ、そのネットワークを発

揮して支援の輪を広げていき

たい」と語る。

日構専同窓会では、今回の

取り組みを機にそのほかの活

動も活発化させる方針を掲げ

ており、日構専のサーバーを

利用しての情報共有化や、奨

学金制度など在校生を支援す

るシステムの立ち上げも検討

中。「需要不振の長期化でフ

ァブ業界は疲弊しているが、

このような時こそ横のつなが

りが大切。同窓会を盛り上げ、

日構専卒業生にとって有益な

情報発信源となるよう頑張っ

ていきたい」と抱負を語る。